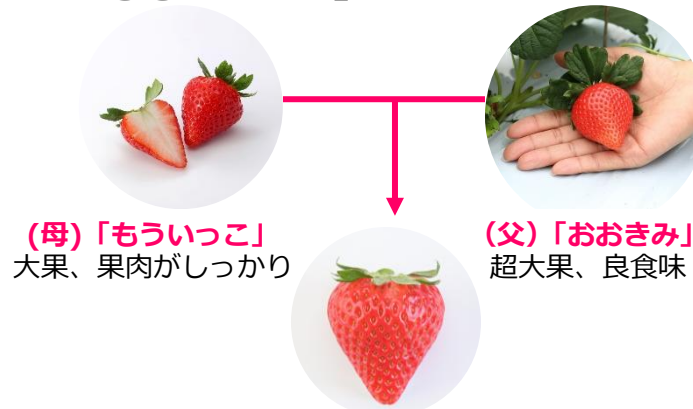


宮城の新しい“いちご”！「ころろんベリー」

農業・園芸総合研究所でいちご新品種を開発。名称は「ころろんベリー」に決まりました。このいちごは、「もういっこ」、「にこにこベリー」に続き、本県3番目のいちごとなります。

■「ころろんベリー」誕生まで



「ころろんベリー」の特徴

- ◆ 大粒
- ◆ 鮮やかな赤色
- ◆ ハート形の断面
- ◆ じゅわっとあふれる果汁
- ◆ みずみずしい食感
- ◆ 甘さとほのかな酸味があり良食味

「ころろんベリー」名前の由来

丸みを帯びた愛らしい形と果実を切ったときにあらわれるハートの断面が特徴的。「コロ」和「ころん」を転がるような印象と「ころん(心)」を重ねて「ころろんベリー」としました。生産者が真心を込めて育てた気持ちをお届けします。

■今後のスケジュール（予定）

- ◆令和8年1月 生産者向け栽培研修会
- ◆令和8年12月 お披露目（デビュー）イベント
開催・生産者販売開始

令和8年12月のデビューイベントで「ころろんベリー」をPRしますので、報道関係者の皆様には、改めてご案内申し上げます。

（参考）本県のいちごは、亘理町や山元町を中心に栽培され、作付面積は135ヘクタール、出荷量は4,760トン（全国10位）〔令和6年〕で東北一の産地。